

重点目標 (めざす姿)		具体的方策	主担当	【評価指標】 ＜成果指標＞＜努力指標＞ ＜満足度指標＞	【評価の根拠】 達成度判断基準	取組状況と今後の改善策	評価	学校関係者 評価者 による意見
1	（教師力を組織的な学校運営を高める）	① 気づきを大切にし、的確な「報告・連絡・相談」をする。	運営委員会（教頭）	【努力指標】 管理職、校務分掌、学年での「報告・連絡・相談」を密にし、協力して課題解決に対応する。	【教職員アンケート】 ・気づきを大切にし、的確な「報告・連絡・相談」をしている。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			
		② 働き方の見直しを進める。	運営委員会（教頭）	【努力指標】 月2回以上の定時退校を設定、業務の平準化、平日部活動の時間短縮等に取り組み、時間外勤務時間を短縮する。	【時間外勤務時間調査】 ・時間外勤務時間が月80時間を超えないように勤務している。 A 100％ B 90％以上 C 80％以上 D 70％以上			
		③ 生徒の「自己指導能力」を育む。	生徒指導（泉）	【努力指標】 生徒指導の4つの視点を意識した実践を重ね、「自己指導能力」の育成を目指す。	【教職員アンケート】 ・生徒指導の4つの視点を意識し、「自己指導能力」を育むことができた。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			
2	（自ら進んで学ぶ生徒）	① 生徒が主体的に課題解決に向かえるようにする。	研究（斉田）	【満足度指標】 課題解決の目的を明示したり、生徒が教科の見方・考え方を働かせることができるように指示を明確にしたり、生徒の考えや学習状況を参照できるようにしたりすることを通じて、生徒が試行錯誤して学ぶことができる授業準備を行う。	【生徒アンケート】 ・授業では、学習課題や学習の目的をつかみ、いろいろな方法や視点から試行錯誤して課題解決に向かうことができた。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 【教職員アンケート】 ・授業では、生徒が試行錯誤して学ぶことができるよう、学習の目的を明示したり、見方・考え方が働くよう指示を明確にしたり、GIGA環境を活用して簡潔に指示・説明している。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			
		② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	研究（斉田）	【満足度指標】 生徒に自分の考えを表出させ、育成すべき資質・能力に沿って生徒の学習状況を見取ることを通じて、具体的な支援を行い、目標達成につなげる。	【生徒アンケート】 ・授業では、Chromebookのアプリやクラウドを効果的に活用して、友達と意見を交流したり、先生からアドバイスをもらったりしながら、課題解決しようとすることができた。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 【教職員アンケート】 ・GIGA環境を活用して、生徒の学習状況を見取り、生徒と生徒をつないだり、個別に支援したりしている。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			
		③ 視点を明確にしてアウトプットさせる。	研究（斉田）	【満足度指標】 学習課題と整合した適切な形でまとめ、本時の学びに合った振り返りを通じて、必要な情報を抽出して考えを形成する力を育む。	【生徒アンケート】 ・授業では、課題に合うような形で、本時の学びをまとめたり、振り返ったりすることができた。（授業での学びを生かして、自分の考えを表現したり、作品をつくりたりすることができた。） A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 【教職員アンケート】 ・授業の終末部分で、生徒が課題に合った適切なまとめ、振り返りができるような手立てをしたり、生徒の振り返りの記述内容を授業改善に活かしたりしている。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			
3	（明るく素直に振る舞う生徒）	① 生徒指導・教育相談を充実する。	生徒指導（泉）	【努力指標】【成果指標】 生徒指導や教育相談を充実させることで、年間の事案件数を減らす。	【生徒指導データ】 ・生徒指導事案（暴力・いじめ等）の発見と解決。 A 100％ B 90％以上 C 80％以上 D 70％以上 【教育相談データ】 ・新たな不登校及び不登校傾向の生徒をつくらない。			
		② 特別の教科道徳において、道徳的価値について考えを深める。	教務・研究（西田千）	【努力指標】 生徒が、効果的な振り返りを通して、道徳的価値についての自身の考えの深まりを実感できるようにする。	【教職員アンケート】 ・ねらいとする価値にせまるために、多面的・多角的な見方ができるような授業展開の工夫に努めている。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 【生徒アンケート】 ・道徳の授業では、友達との話し合いなどを通じて、課題について自分の考えを深めることができた。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			
		③ 郷土を愛する心を育成する。	教務・研究（本川）	【満足度指標】 地域と連携したキャリア教育やふるさと教育を計画的・効果的に実践する。	【教職員アンケート】 ・総合的な学習の時間等を活用し、生徒のキャリア発達を促したり、郷土を愛する心を育成したりする。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 【生徒アンケート】 ・「能美市・根上中の良いところを知っている」の結果 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			
4	（強い身体をもつ生徒）	① 基礎体力を向上させる。	保健体育（泉）	【努力指標】 教科体育の充実や適正な部活動運営を通して、基礎体力の向上を図る。	【体力テスト】 ・2、3年生の体力テストにおいて、総合評価のA、Bが占める割合 A 60％以上 B 50％以上 C 40％以上 D 40％未満			
		② 健康教育を充実させる。	保健環境（四間丁）	【満足度指標】 「睡眠」と「朝ごはん」を基盤として、歯科検診や眼科検診の結果を含め、生徒が年間を通して生活改善を意識できるようにする。	【生徒アンケート】 ・「毎日朝食を食べている」ができている。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 ・「睡眠時間の確保」ができている。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 【保健調査】 ・歯科検診、眼科検診後の受診状況 A 80％以上 B 70％以上 C 60％以上 D 60％未満			
5	（家庭・地域との連携の推進）	① 学校運営協議会を充実させる。	教務（辻）	【満足度指標】 学校運営協議会を中心に、コミュニティスクール（CS）としての機能を推進し、家庭・地域との連携を強化する。	【保護者アンケート】 ・学校・保護者・地域がつながり合って、生徒の成長を支えていると感じる（コミュニティスクールとの連携等）。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 【教職員アンケート】 ・学校運営協議会での話し合いを中心に、保護者や地域からの意見を、日々の教育に生かしている。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			
		② 積極的な情報公開と社会貢献を展開する。	教務（辻）	【成果指標】 ホームページ等での情報発信につとめ、学校教育活動に対する家庭・地域からの理解を深められるようにする。 【努力指標】 学校教育活動全体を通して、社会に奉仕しようとする態度を育成する。	【保護者アンケート】 ・生徒の学校での活動の様子を知るために、学校ホームページを定期的に閲覧している。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満 【生徒アンケート】 ・「そうじをしている」「あいさつができる」「係活動に取り組んでいる」の結果。 A 90％以上 B 80％以上 C 70％以上 D 70％未満			